

# 道路散水による都心のヒートアイランド対策

## 実施概要

ヒートアイランド対策として、路面温度を下げることを目的に、道路延長約350mにわたって保水性舗装と散水装置を設置しました。この対策により、一般的な舗装路面と比較して約10℃の温度低下が期待されます。

また、環境に配慮し、散水には湧水を、設備には太陽光・風力発電を活用しています。

※ ヒートアイランド現象:都市の中心部の気温が、その周辺に比べて高くなることです。  
湧水:ここでは地下鉄から出てくる水を再利用しています。

## 保水性舗装による温度低下

アスファルト舗装のすき間に保水材を入れ水を蓄えます。この水が蒸発する時に周りに熱を取るため(気化熱)、路面の温度が下がります。これは、庭の打ち水や夕立ちと同じ原理です。

